

| コース名 | | 科目名 | | | 対象学年 | |
|---|-----------------------------|---------|-------|----|--------|-----------|
| 臨床医学 | | 臨床実習Ⅳ・Ⅴ | | | 5 | |
| 開講学期 | | 科目責任者 | 副責任者 | | | |
| 通年 | | 森谷 卓也 | 加藤 勝也 | | | |
| 目的 | | | | | | |
| 本実習は、4 学年までに身につけた知識や技能、態度が臨床現場で活用されていることに気付き、自らの学習動機を高めること、指導医や研修医、他の職種を含む診療チームの中で、臨床実習生（医学）としての一定の役割・責任を担うことを目的に実施する。 | | | | | | |
| 授業到達目標 | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 礼儀正しく患者やその家族と接し、信頼関係を形成できる。 2. 適切な医療面接を実施できる。 3. バイタルサインを診ることができる。 4. 頭頸部の診察ができる。 5. 胸部診察ができる。 6. 腹部診察ができる。 7. 神経診察ができる。 8. 筋骨格系の診察ができる。 9. 診療情報を収集・分析し、問題点を抽出できる。 10. 病態を推論し、鑑別診断を挙げ、検査計画を立てることができる。 11. EBM が実践でき、治療方針について指導医と議論することができる。 12. 適切な診療録記載ができる。 13. 適切な症例プレゼンテーションができる。 14. チーム医療が実践できる。 15. 外科基本手技が実践できる。 16. 基本的な画像（胸・腹部単純 X 線像など）が読影できる。 17. 実習各科における診療に必要な基本的医学知識を説明できる。 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| 回数 | 月日 | 曜日 | 時限 | 区分 | 担当者・所属 | 授業内容 |
| 1~1234 | 2024. 3. 25~ 2025. 2. 14 | 月~金 | 1~6 | 実習 | 各実習科 | 診療参加型臨床実習 |
| 評価方法 | | | | | | |
| [実習点] 100% | | | | | | |
| [評価方法] 多肢選択試験、出席・受講態度評価、プレゼンテーション評価、実習態度評価、360 度評価、観察記録、その他（診療科ごとの評価法による（事前に通知）） | | | | | | |
| [備考] 1) 4 学年から 5 学年にかけて、54 週間にわたる診療参加型臨床実習（Clinical Clerkship）を行う。 2) 臨床実習Ⅳ・Ⅴについては全出席が原則である。4 学年 1 月~5 学年 12 月ローテートの全実習科の平均点 60 点以上かつ 4 学年 1 月~5 学年 12 月ローテートの欠点実習科 1 科以下かつ 5 学年 1・2 月選択の 2 実習科すべてが 60 点以上の場合に、単位認定を行う。臨床実習Ⅳ・Ⅴの評価は、5 学年の学年末に行う。 | | | | | | |
| 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. レポートは、教員の指示に従って作成すること。レポートに生成 AI を使用する場合は、「川崎医科大学の生成 AI 取扱い指針」に従い、使用した生成 AI の種類、引用箇所、prompt 内容を提示すること。 2. 生成 AI の内容には虚偽が含まれている可能性があるため、必ず自ら根拠や裏付けを確認すること。 3. 課したレポートは、原則、コメントをつけて返却する。 実習最終日に知識・技能・態度について指導教員よりフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | |
| 各実習科の指導教員の指示に従うこと。 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | |
| 各実習科の指導教員の指示に従うこと。 | | | | | | |
| 準備学習（予習・復習等） | | | | | | |
| 各実習科の指導教員の指示に従うこと。 UpToDate を活用すること。 | | | | | | |
| 講義についての注意事項 | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 各実習科の指導教員の指示に従うこと。また、臨床実習の心得や実習期間を通して身につけるべき事項等については、臨床実習の手引きを参考にすること。 2) 体調不良等で実習を欠席する場合は、実習指導責任者（Clerkship Director）と学生課に必ず自分で連絡すること。また、補充実習等の有無について実習指導責任者（Clerkship Director）に自分で確認すること。 3) CC-EPOC の入力に積極的に取り組むこと。 | | | | | | |
| 昨年度からの変更点・改善項目 | | | | | | |
| CC-EPOC を導入した。 | | | | | | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

医学知識・技能・態度を身につけるための科目であり、本科目習得後に学ぶ「臨床実習Ⅵ」履修のために必要な学問である。生涯学習の必要性や卒後研修への継続的な学修を意識する。医師としての強健な意志と体力の重要性を学ぶ。

ナンバリング

DCCC503